

平成 30 年 5 月吉日

関係各位

主催：(一社) 日本建設保全協会
後援：(公社) 土木学会 関東支部
後援：(一社) 建設コンサルタント協会 関東支部

道路橋の長寿命化対策に関わる技術講習会

ご案内

私たちの生活の支えとなる様々な土木構造物は、当たりまえのように日常の中に存在していますが、その老朽化・劣化は確実に進み、早急な対策を必要としています。

このような昨今の状況を受けて、(一社)日本建設保全協会では、官公庁の技術職員の方や建設コンサルタントの土木技術者の方々を対象としました、道路橋の維持管理 また、長寿命化をテーマとした技術講習会を開催いたします。

膨大な数に及ぶこれら構造物を今後 どのように維持管理していくのか、構造物の寿命をどのように延ばしていくのか、官学産それぞれからお招きした講師の方々より最近の維持管理政策の動向や補修・補強に関する技術などについて講演を頂きます。

ご多忙の折とは存じますが、是非ともご出席を賜りますようご案内申し上げます。

尚、参加申し込みにつきましては、別紙の参加申込書にて 7月2日(月曜日)までに、お申し込みをいただきますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

記

日時： 平成 30 年 7 月 5 日 (木) 13:00~17:00
(受付は 12:00 より開始いたします)

場所： 【牛込笹筒区民ホール】
新宿区笹筒町 15 番地 TEL 03-3260-3421
交通案内 ・大江戸線 牛込神楽坂駅 A1 出口すぐ
・東西線 神楽坂駅 2 番出口より徒歩 10 分

定員： 350 名

- ※ CPD 認定プログラム講習会(3.7 単位：JSCE18-0420)
- ※ 参加費 無料



東京

『道路橋の長寿命化対策に関わる技術講習会』

主催 一般社団法人 日本建設保全協会
後援 公益社団法人 土木学会 関東支部
後援 一般社団法人 建設コンサルタンツ協会 関東支部
日時 平成 29 年 7 月 5 日(木) 13:00～17:00 (開場 12:00)
会場 牛込笹笥区民ホール
定員 350 名

【 CPD 認定プログラム講習会 3.7 単位 / JSCE18-0420 】



プログラム

(敬称略)

オリエンテーション		13:00～
開会挨拶	国土交通省 関東地方整備局 東京国道事務所 所長 井上 圭介	
第 1 部 「道路構造物の老朽化対策に関する取り組み」	国土交通省 関東地方整備局 道路部 道路保全企画官 設楽 隆久	13:10～13:40
第 2 部 「補修設計・施工の留意点と RC 床版の長寿命化対策事例」	一般社団法人 日本建設保全協会顧問 (九州共立大学名誉教授) 牧角 龍憲	13:40～14:25
	休憩 10分	
第 3 部 「国内外のコンクリート構造物の維持管理に関する最近の話題」	一般社団法人日本建設機械施工協会 施工技術総合研究所 技師長 谷倉 泉	14:35～15:15
第 4 部 「コンクリート構造物の表面被覆材による劣化・剥落防止工法の事例」 「樹脂系接着剤を用いた注入方式のあと施工アンカー工法の事例」	株式会社 駒井ハルテック 橋梁保全事業室 冬木 邦彦	15:15～15:55
	休憩 10分	
第 5 部 「アセットマネジメントシステムの実装に向けて (仮)」	東京大学 工学部 工学系研究科 社会基盤学専攻 マネジメント・グループ 教授 小澤 一雅	16:05～16:55
閉会挨拶		～17:00

技術講習会 参加申込書

1. お手数ではございますが、技術講習会参加ご希望の方は、下記にご記入のうえ、FAX にてお申し込みをお願い申し上げます

FAX : 03-5373-1702

東京都事務局 株式会社 飛鳥 内 (TEL 03-5373-1711)
東京都中野区大和町 1 丁目 15-3

2. 会費 : 無料

- * 会場準備のため、平成 30 年 7 月 2 日(月) までに、参加希望をお知らせください。
- * 応募多数の場合は、後日 調整させていただきますので ご了承ください。

官庁名・お勤め先		該当に ○印	<ul style="list-style-type: none"> ・官公庁 ・建設コンサルタント ・その他 民間 	
住 所	〒			
	(電話番号)	(FAX 番号)		
	所属	役職名	お名前	E-mail アドレス
1				
2				
3				
4				

【開催場所】

牛込笹笥区民ホール TEL 03-3260-3421
(新宿区笹笥町 15 番地)

【交通のご案内】

- 大江戸線 牛込神楽坂駅 A1 出口すぐ
- 東西線 神楽坂駅 2 番出口より徒歩 10 分

【お知らせ】

当会場は 駐車場のご用意がございません。
周辺駐車場をご利用いただくか、
公共交通機関にてお越しください。

